

〈調査報告書〉 《サンプル》

【1】行動監視調査

※個人情報保護のため、実写画像・日時記録にモザイク処理をしています。

平成〇〇年〇月〇日(日) 天候 晴れ 人員2名
調査車両1台

調査開始場所: 対象者の自宅付近
住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

調査開始予定時刻 10:00 実際の報告量は現着時・途中経過などの画像が入り、更に多くなります。

記

不倫相手とラブホテルの部屋までの入室シーン重視のため、途中経過は省略しています。

11:42 被調査人「〇〇〇〇」氏(以後、対象者と記述する)は、「〇〇・〇〇店」駐車場で待ち合わせた、交際相手「〇〇〇〇」氏(以後、交際相手と記述する)の使用車両「〇〇・〇〇・〇色・車両NO.〇〇〇〇」を運転し、ホテル「〇〇〇」メイン入口より入る。
住所地: 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇〇〇 TEL: 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇



11:43 「正面玄関」奥手の「NO.22ブース」に後退し、駐車する。



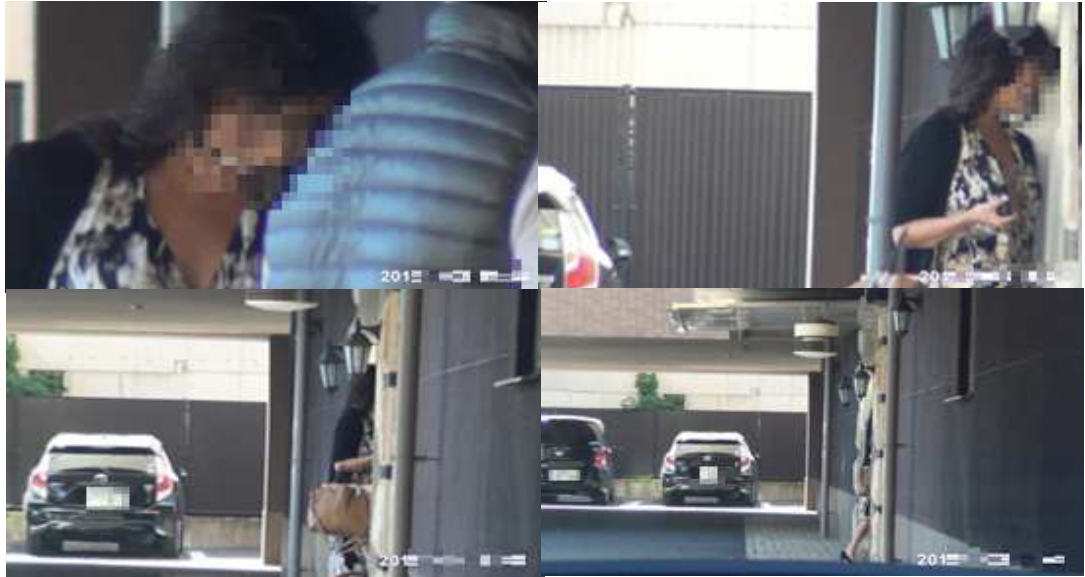
聴取内容から、交際相手の手作り弁当が入ったと視察する、「ピンク/白のツートン色保温バック」と、「飲み物」が入った「レジ袋」を両手に持つ対象者と、「デザート」と見受ける折りと手提げ鞆を手に持つ交際相手が降車する。「同ホテル」「正面玄関」へ向かう。



途中、会話し、交際相手が笑みを浮かべる。



11:44 「正面玄関」より、入館する。調査員は確認のため、館内へ入る。



JIAより一言

一般に良くある探偵社の撮影はここまでが多く、後の慰謝料請求時、否定や減額要求等で、弁護人が入るケースや、慰謝料を支払いたくないがため裁判となった場合、「ホテルには入ったが裏から出た」・「混んでいたので部屋には入っていない」・「部屋に入ったとは限らない」等と、調査報告書の内容で「粗を探され」、言い逃れ・否認をされることが多くあります。

もし、真逆に貴方が不貞を理由に「慰謝料請求」されたなら・・・どうされますか？

恐らく、同じように請求額を満額支払いたくないはずですが、最悪は減額してもらうため、弁護人を申し立て、調査報告書の「粗を探す」のでは・・・

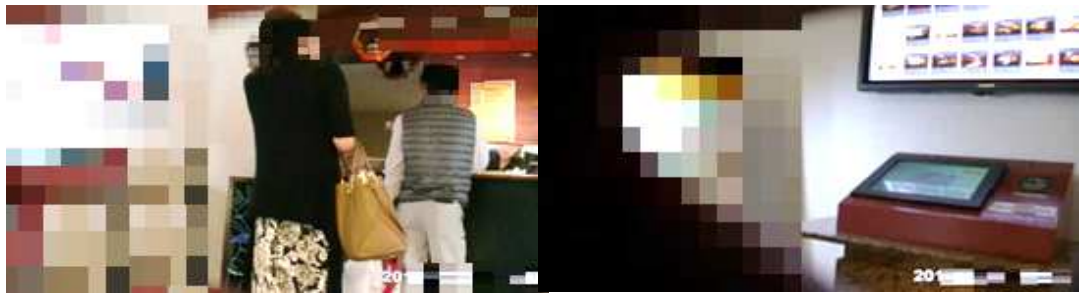
ここまで撮影できていれば、一安心といったところですが、実際問題、被調査人・接触者の警戒レベルが左右します。依頼した探偵社で調査を気付かれてしまったり、失敗後の再調査依頼などでは特に警戒レベルは高まります。

また、調査委任前、委任中は依頼人側で警戒心を煽る言語や行動は慎みましょう。

JIAが調査報告書の質に拘る「言い訳できない」決定的シーンは以下をご覧ください。

対象者が、「フロント」脇の「タッチパネル」で部屋を選び、レシートを取る。
部屋番号が記載されたレシートをフロントへ出す。





11:45 対象者が「ルームキー」を受け取り、左側「エレベーター」で上向する。



11:46 対象者と交際相手は「二階」で降り、足早で館内右奥手へ向かう。

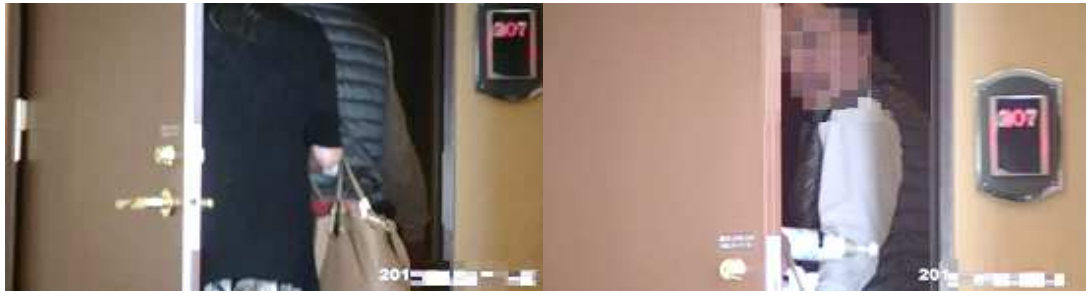


※他社との差別化は「言い訳の利かない決定打」の撮影に全力を尽くします。
 対象者が「207号室」ドアを開け、交際相手と二人での入室を確認する。



JIAより一言

こんなにうまくいくか??と思われる方も少なかれ居られると思いますので、インターネット上で見かける、調査報告書を良く見せるための、スタッフ自演・撮影や画像加工ではありません。JIAのサンプル調査報告書は全て、実際に撮影した「実写」と報告内容をサンプルとして記載しております。調査員は男女2名で自然体を装い撮影しています。



対象者は警戒を見せるも、調査員には気づかず、「同号」のドアが完全に閉まる。



12:00 「同号」より、対象者と交際相手出ず。調査員は二班に別れ、A班、「同ホテル」の客部屋を利用をし、「定期的」に「同号」の「利用中表示」の確認作業へ移行する。
B班は、「正面玄関」及び交際相手車輛の監視へ移行する。





13:00 A班、「同号」の利用中表示「赤色」に「ドア表示」が「点灯」を確認。
 B班、対象者と交際相手、「正面玄関」より出ず。交際相手車輦へ現れず。
 引き続き、監視を継続する。



補足
 ホテル「〇〇〇」のドア表示で、
 空室は「グリーン色表示」となる。



時間撮りの間 省略

19:54 「館内」の「フロント」側より、8時間8分の休憩利用を終えた対象者と交際相手が現れ、「正面玄関」より出る。



交際相手車輛へ向かうも、「お茶」を手に持つ交際相手がよろけ歩く。



JIAより一言

と、長時間のホテル利用では、調査をスムーズに進行させるため、調査員のホテル利用も必要な場合があります。ホテル側からの、苦情を出さないのも戦略の一部となります。

乗り込み、追尾を省略

20:13 帰り際、対象者と交際相手は、「スーパー〇〇・〇〇店」へ立ち寄る。
対象者は降車せず、交際相手のみ降車し、「同スーパー」へ入る。
「酒コーナー」で、「ブランディー」を買い物籠へ入れる。



JIAより一言

こうした買い物等では接触者・交際相手が立ち止まるシーンが多くなりがちのため、「顔・表情」などの面取り撮影の絶好のチャンスとなります。こうした瞬間を逃さないのも、調査における任務であり、調査報告書の質に影響するものといえます。

もし、真逆に貴方が明るい場所で鮮明な表情を撮影されてしまったら、「私じゃない」とは言いづらくなりますよね。

以下省略。対象者と交際相手は午前中に待ち合わせ、車輛を放置した「〇〇・〇〇店」駐車場で別れ、対象者は自宅へ帰宅したと依頼者から連絡が入る。交際相手の追尾を優先し、自宅が判明する。後日、交際相手の氏名は「〇〇〇〇」氏と判明した。

